

医療法人社団やまと



理事長

田上 佑輔 氏

●企業の概要

企業名：医療法人社団やまと

代表者：理事長 田上 佑輔

住所：宮城県登米市迫町佐沼字下田中25

設立年：2015年（創業：2013年）

業種：在宅診療サービス業

資本金：20百万円

従業員数：26名

●事業の概要

東日本大震災を契機に、医師である理事長が地域の医師不足解消のため、都市と地方で医師を循環させる新しい運営システムで開設した在宅診療所。県内では人口・面積に比して医師の少ない登米市と大崎市、都市部では神奈川県横浜市・川崎市の合計4拠点で医療サービスを提供。



登米診療所



全国の拠点

都市と地方で医師をシェアする独自の事業スキームを構築し、地域医療の充実を目指す

都市から地方	月	火	水	木	金	土	日
▲医師Aの場合		茨城		東京			
▲医師Bの場合		大阪	茨城		大阪		

近隣の都市から地方	月	火	水	木	金	土	日
▲医師Aの場合	仙台	盛岡		仙台			
▲医師Bの場合		盛岡		盛岡			

医師循環の例



在宅診療の様子



「coFFee doctors」

●受賞の理由

当法人理事長は、東日本大震災後に医療ボランティアとして活動する中で、十分な医療提供体制が確保できない地方医療の現状を改めて認識した。実際に地域医療への貢献に意欲のある医師は多数いるが、生活面の問題や医師としてのキャリアアップ等を考慮すると、医師が地方に移り住み、地方だけで診察を行うという働き方はなかなか選択されにくい。

そこで、医師が都市と地方を行き来する「循環型医療」を提案する「やまとプロジェクト」を開始、2013年登米市に「やまと在宅診療所」を立ち上げ、最初は登米市と東京の2拠点で、定期的に医師が交代しながら在宅医療を展開した。医師がひとりひとりの状況に合わせて都市と地方の勤務スケジュールを調整でき、自分のキャリアアップと地方医療への貢献を両立できる取組であり、新しい医師の働き方として評価は高い。

現在の診療内容は、県内の医療機関や地域のケアマネージャー等からの紹介により、施設や自宅などへの訪問診療・看護等を実施。担当医師・看護師と患者・その家族が24時間・365日連絡が取れる体制を維持し、総合診療、緩和ケア、終末期医療等の包括的ケアを実現している。

2015年からは登米診療所近くにコミュニティカフェ「coFFee doctors」を運営し、そこで定期的に医療相談を行うなど、医療従事者と地域住民との交流を促す取組を実施、本事業の地域への浸透および利用促進を図り、その姿勢も高く評価されている。

都市と地方で医師を循環させるというアイデアは斬新であり、ビジネスモデルとして同じ課題を抱える地方への事業展開も期待できる。また地域医療はその地域の魅力を向上させる社会的インフラであり、地方の医師不足の解決策となり得る本事業は、地域経済への貢献大である。当法人では現在10名の医師が、登米、盛岡、仙台、奈良、大阪、千葉を循環しており、地方医療の課題解決となるビジネスモデルを展開する医療法人として、今後更なる成長が期待される。